

健康運動指導研究助成

募集内容

運動指導における実践研究や、地域・職域における健康・体力づくりのための調査研究に対して助成を行います。

指定研究区分は、健康運動指導士又は健康運動実践指導者以外に、大学等の研究機関に所属する方も応募いただけます。

※前年度（令和7年度）に本研究助成金の交付を受けた方は応募できません。

1 実践研究

- ア. 運動指導活動における検証、課題解決、人材育成、新たな指導法等のための研究
- イ. 運動指導活動における事例をもとに得た経験や知識の具体的な成果報告、自らが考案・工夫した運動プログラム・指導方法等に係る効果検証等の具体的な成果報告
- ウ. 多くの健康運動指導士・健康運動実践指導者が活用できる運動プログラム教材や運動器具などを作成するための研究

助成金額…1研究につき **上限50万円** 15件以内

【応募資格】 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

※この区分は、大学・研究機関において研究活動を主な業務とされている方より、指導活動を主な業務とされている方を優先します。

2 調査研究

我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進、新たな指導のあり方等のための研究

助成金額…1研究につき **上限100万円** 5件以内

【応募資格】 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

3 指定研究

当財団が指定するテーマに関する研究

令和8年度研究課題

- 健康運動指導士・健康運動実践指導者の活躍と新しい働き方に関する研究

キーワード 健康運動指導士、健康運動実践指導者、キャリア形成、ビジネスモデル、情報発信、地域連携、多(他)職種連携

助成金額…1研究につき **上限250万円** 2件以内

【応募資格】 以下に所属する研究者

「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」「国の施設等機関」「地方公共団体の附属試験研究機関」「研究を主な事業目的としている公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人及び一般社団法人」「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条の規定に基づき設立された独立行政法人」「その他これらに準ずる適当と認める機関」

研究期間

令和8年 5月～
令和9年 3月31日

受付期間

令和7年

12月1日

令和8年

1月7日

選考結果 令和8年4月に郵送にて通知します。

募集要項及び応募方法は当財団ホームページよりご確認ください。

<https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/index.html>



問合せ先



公益財団法人
健康・体力づくり事業財団
JAPAN HEALTH PROMOTION & FITNESS FOUNDATION

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-6-10 大東京ビル7階

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 指導者支援部 研究助成担当

TEL : 03-6430-9115 FAX : 03-6430-9215 Mail : josei@health-net.or.jp

参考

令和7年度健康運動指導研究助成 研究課題一覧

実践研究

- 身体機能の改善と精神発達を促す自閉症児向け水中運動指導法の開発
：障がい者のウェルビーイング実現を担う健康運動指導士・健康運動実践指導者の養成を目指して
- 骨盤底筋トレーニングが骨盤底機能年齢と幸福度に与える影響
- レジ袋を利用した運動プログラムの開発と評価～家にあるレジ袋を運動用具として再利用～
- 日本最南端・沖縄八重山諸島における生活習慣病予防教室～健康運動指導士・実践指導者の地域包括ケアシステム参画を目指して～
- フレイル予防に特化した運動指導施設利用者の特性把握および個別最適化プログラム作成のための基礎データ収集に関する研究
- 幼児における投能力向上のための雪遊び教材の開発
- 高齢者の転倒予防として棒を用いた足趾把持力トレーニングの効果
- 就業終了時のピラティスエクササイズは夜間労働者の睡眠の質を改善するか？～健康運動実践による介護産業の健康経営確立支援～
- AI 姿勢推定を活用した健常高齢者向け身体評価システムの有用性の検討
- 従業員の生活習慣改善に向けた「健康チャレンジ・プログラム（継続的な目標管理の仕組み）」実践方法の検証
- 音楽を活用したマルチコンポーネント運動の効果性について～和み cise 運動プログラムの活用～
- 中高齢者の運動前の体ほぐし（準備運動）オリジナルプログラム（丸の体操）の有効性の検証と準備運動についての提案
- 高齢者サロン参加者が継続しやすい多要素な運動プログラムの開発～日常生活で運動習慣をつけるために～

調査研究

- 軽度認知障害における多因子介入プログラム別の感情応答の検討
～健康運動指導士と研究者の共創による認知症予防モデル構築への挑戦～
- 介護予防体操を普及する高齢ボランティアの生活関連体力と認知機能の実態
- 労働者におけるプレゼンティーズムと体力の関連の解明
- 地域に根づいた減量支援ボランティア活動の体系的評価と継続要因の解明
- 自立高齢者を対象とした健康運動指導士主導のマルチコンポーネント運動介入がロコモティブシンドローム改善に及ぼす効果検証

指定研究

「社会とのつながり」「自然と健康になれる環境づくり」に貢献する健康運動指導士の役割創出

■令和6年度研究成果報告書
https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/houkoku/josei_seikaR6.html



■令和7年度採択研究課題の「研究計画書例」
https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/documents/r8_1-4_jirei.pdf

